

# 写真友会

お客様とキタムラをつなぐ  
コミュニケーション情報誌

特集: **祭** それぞれの風土に咲く鮮やかな華

Vol.9 Summer

平成6年6月1日発行 季刊第9号

カメラのキタムラ広報室

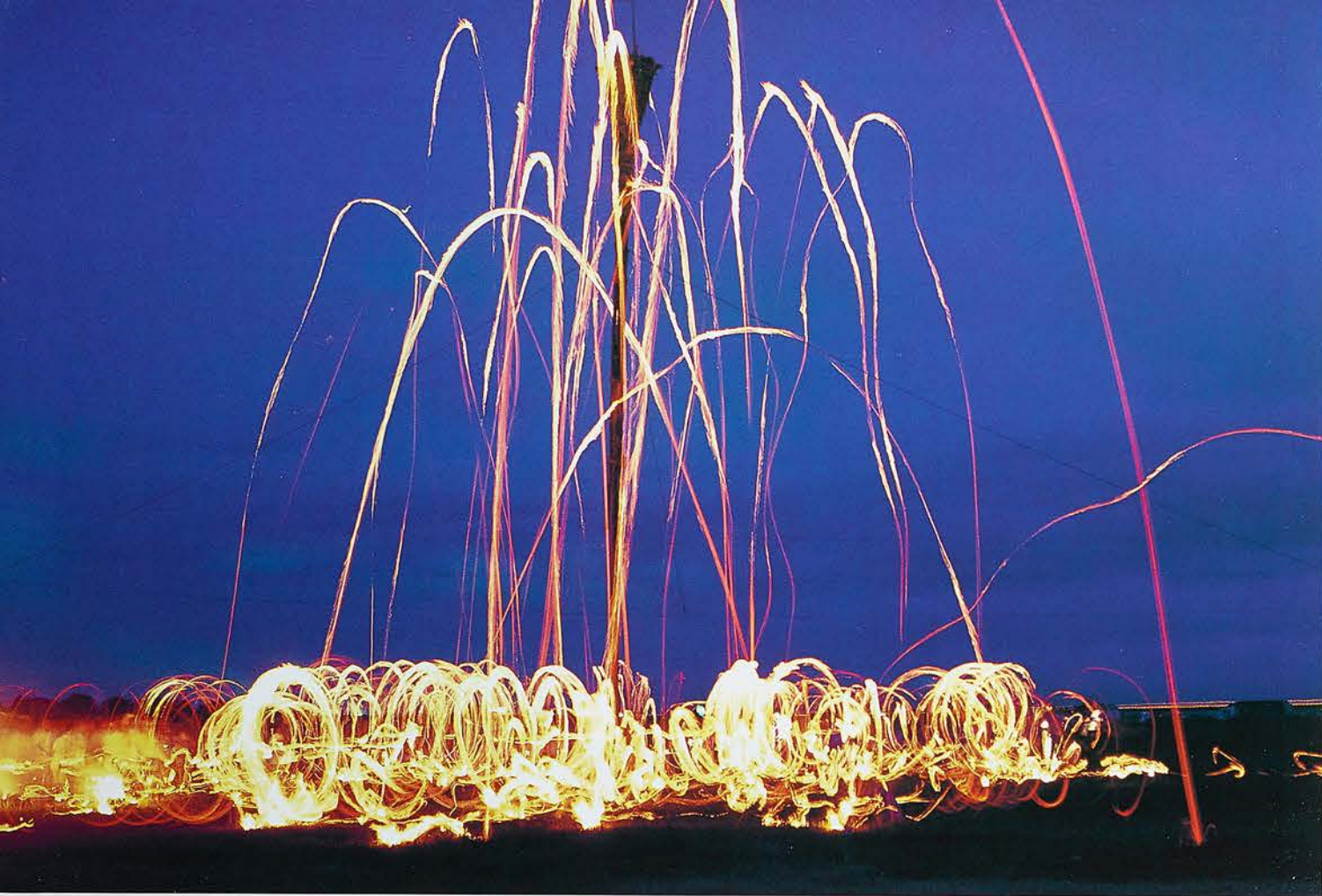
カメラの  
キタムラ®

大小の連続した花火の光跡をとらえるため、  
大きな花火が消える前にシャッターを開け、  
小さな花火が発光する瞬間に閉じた。

■ペンタックスZ-1  
SMCペンタックスズームM28-105EB f8 B

〒222 神奈川県横浜市港北区新横浜2-4-1 新横浜WNビル7F ☎045-476-0777





神社の境内である。バックをすっきりさせるため、高い位置から俯瞰して撮った。  
■ペンタックスZ-1 SMCペンタックス250mm F1.4 EB f4 1/60秒



日本は多様な祭を持つ国は珍しいという。それは、我が国の豊かな自然環境による所が大きいのではないだろうか。私たちの祖先は、住む土地ごとに様々な暮らしを営んできた。山に住み、狩猟や樹木の伐採を生業とする者、海辺に住み、沖へ漁に出かける者。平地に住み、稲作や畑作を行う者……。

そしてその誰もが神を祀っていた。自分たちの生命や生活に関わる恐れや願望が、自然の中に神々を見いだし、「山の神」「水の神」「土の神」などを祀る。土地ごとの祭を発祥させたのであろう。

山の民は、狩りの成功や我が身の安全を願い、

祭を催した。平地を耕す人々は、五穀豊饒の願いを祭に託した。漁師たちは、自分たちを支配する海の神を畏れ、大漁と安全を祈った。そんな大自然の神々を祀った集落ごとの行事は、長い時を経て、今もそれぞれの土地の風土として生き続ける。それはあたたかも季節のめぐりとともに晴れやかな姿を現し、その土地になじんだ風景として、人々に迎えられる花のように。

そろそろ全国各地に個性豊かな夏祭の音が聞かれる季節。故郷に咲き乱れる、夏の華に惹かれ、都会から里帰りする人も多いことだろう。

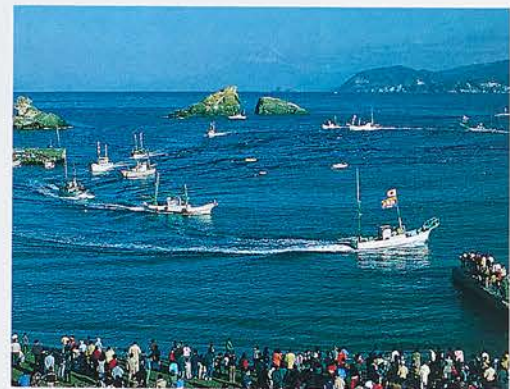


夏祭の合間に遊ぶ子供達を主題に、広い海を入れて奥行きを出すため、ワイドレンズを使ってスナップした。■ペンタックスLX SMCペンタックス28mm F2.8 KR f8 1/250秒

バックを遠くへ追いやり、手前の主題を大きくとらえられるワイドレンズを使って、主題の太鼓を強調した。  
■ペンタックスLX SMCペンタックス28mm F2.8 KR f8 オート



高い所にある灯籠めがけて松明を放り上げる祭。その光跡を長時間露光でとらえた。  
■ペンタックスZ-1 SMCペンタックス50mm F1.4 KR f5.6 B(約30秒開放)



祭の船が漁港を回り、見物客が渚に集まっているところを、橋の上の高い位置から俯瞰撮影した。■ペンタックスZ-1 SMCペンタックス50mm F1.4 KR f8 1/250秒

夕暮れのバックも合わせて描写するよう、そちらに露出を合わせておいて、ストロボを使用した。  
■ペンタックスZ-1 SMCペンタックス50mm F1.4 EB f2.8 1/30秒 ストロボ



屋台で踊る美しい少女だけをとらえるため、バックに余計なものが入らないよう、超望遠レンズを使って大きく引きつけた。■ペンタックスSFxN SMCペンタックス300mm KR f4.5 オート



それぞれの風土に咲く「日本の祭」。

鮮やかな華、

よもやま  
「祭」四方山話

日本の夏の風物詩といえば「祭」。夏祭の神輿や行列が始まると、誰しも心ウキウキ、体も自然と祭囃しに合わせて動き出してしまいます。季節の息吹を発見し、祭の熱気に酔う。土地と人に出逢い、歴史と伝統を知る。そんな様々な楽しみと魅力を持つ、「祭」の豆知識を集めてみました。

日本人の生活の  
節目に祭あり。

日本人は、お祭好きだとよくいわれます。私たちは古くから、正月・ひな祭・お盆・七夕などの歳時を行うことで、身の安全や生活の発展を神に祈ったり、先祖の霊に感謝することを伝統としてきました。そしてそれは、折々の季節の訪れを喜び合う行事でもあったのです。また、人生の節目としての冠婚葬祭などを含めて、各人の家庭を基本とした「祭」は、日常的に行われています。こうした「祭の精神」が、現在全国的に知られている数々の大きな祭典をも生み出してきたといえるでしょう。

我が国には、春夏秋冬・大小合わせて何万という数の祭が存在するといわれますが、とり



千石船の横形をかついで練り歩くお船祭を、バックのすっきりした田んぼ道で待ち伏せして写した。■ペンタックスZ1 SMCペンタックスズーム28mm KR f8 1/250秒

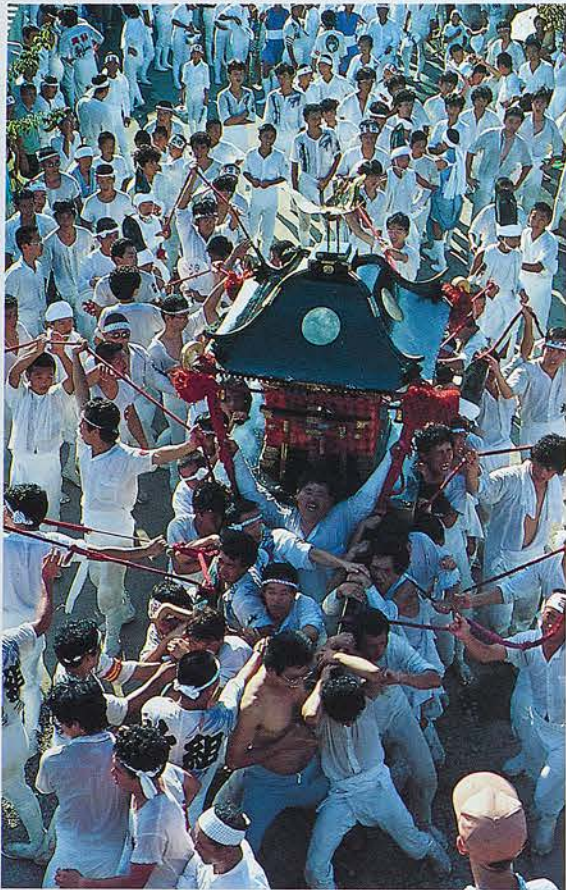
# 祭

れる、宮廷行事としての「公家の祭」など、それぞれの祭を起した人達の身分や職によって、祀る神様や目的が異なっています。また、その内容からみても、神輿行列・踊り・供養・花火・市など、様々なタイプの祭が全国各地で行われています。こうした面にも注目すると、祭をより一層興味深く見られるのではないのでしょうか。

神輿は神社の  
ミニチュア版!?

祭における、代表的な見せ物といえば、何といても神輿です。大きな祭になると、町や

大群衆が神輿を練って歩く。高い所から俯瞰して、画面いっぱいにそれをとらえた。■ペンタックスLX SMCペンタックス250mmF1.4 KR f8 1/250秒



村ごとに立派な神輿があつらえられ、それぞれが競い合うように、あちらこちらを練り歩く姿は壮観です。神輿とは、そもそも神社を移設するときなどに用い、神霊を社から移して運ぶための神座。つまり神様の仮住まい、神社のミニチュアのようなもので、これを担いだり押んだりすることは、直接神様に接することができる機会なのです。また、祭によってはこの役目が山車であったり、大木であったりと、神様が宿ると人々が信じるものが主役となつて、それぞれの祭の地方色や個性を醸し出しています。



夕暮れ時の風景に点灯した灯籠が美しかった。主題の川を広く写すためにワイドレンズを使用。■ペンタックスLX SMCペンタックス28mm F2.8 KR 14 1/2秒

祭の種類あれこれ。

ひと口に「祭」といっても、そのもともとの起りや内容によって、様々な種類のものがあります。

徳島の「阿波踊り」や山形の「花笠祭」のように、農作物の豊作祈願を目的とする、いわば「農民の祭」、岩手の「遠野祭」のように、流鏝馬などによって武芸の上達や戦の勝利を祈願する「武士の祭」、さらに京都の「葵祭」に代表さ



バックに余計なものが入らないよう、カメラアングルを低くしてストロボを使った。■ペンタックスLX SMCペンタックス28mmF2.8 KR f5.6 1/125秒 ストロボ

祭を通して、風土を伝えてゆきたいんです。

木村仲久氏(カメラマン)



私は、20年ほど前から祭を撮り続けていますが、祭の持つ独特の「美しさ」「華やかさ」「珍しさ」といった非日常性に、被写体としての強い魅力を感じます。また、その非日常性から、祭に参加している人々自身の気分も高揚しているのが、カメラを向けても普段のように照れたり臆することがなく、いい表情が撮れるんです。祭を撮る上で大切なことは、まず撮影位置の決め方。混雑していることが多いので、行列の出発点の神社とか、田んぼの前とかバックがすっきりした所がいいですね。それから背景が暗い所に立つてもらうことで人物を際立たせるなど、主題を生かすために効果的なバックを選んだり、光の明暗比の利用によって主題を浮き上がらせたりと、いつもバックの処理には注意しています。祭の場合、夜の撮影も考えられますが、火などの光を使った演出があれば、面白い素材になります。例えば肉眼で見た時は松明を動かしているだけでも、30〜60秒位シャッターを開放すると、その光跡が重なり合って美しい効果が得られます。花火の場合でも、上がってゆくのをシャッター開放のまま見届けて、広がった時に閉じる、といった方法を使うと、非常に迫力のある表現が狙えます。

私は祭を撮る上で、「表と裏」ということを常に意識しています。例えば、これから祭の行列が始まるという時に、出番を待っている少女にカメラ

を向けてみる。するとそこには幾分緊張した「素の顔」があるんです。しかし行列が始まってから撮ったのでは、すでに「祭の顔」に変わってしまつて、記録的な写真しか撮れないですね。こうした視点で祭の華やかな部分だけでなく、周辺の見物人や露店など、いわば「裏の脇役たち」にもカメラを向けてみることで、人とは違った個性のある写真が撮れるんです。もともと祭とは、地方の長い歴史の中で育まれたもので、その土地の風土をもっとよく表しているものだと思うんです。全国には有名な祭がたくさんありますが、皆さんも祭を撮るなら、まず自分の住む土地に注目してほしいですね。きっと様々な新しい発見があるはずですから。

■木村 仲久氏 1938年静岡県生まれ。二科会写真部会員、全日写真連東本部長委員、集団影法師主宰。個展「祭り」橋と川「祭りの音が聞こえる」など。著書「花と海の星」富士秀景(くもん出版)「静岡県の水辺(静岡県)」「静岡の民家」(静岡新聞社)など。1993年、写真集「静岡の民家」により「林忠彦賞」受賞。

日本全国、  
祭もいろいろ。

威勢のいい東京の祭、優雅な京都の祭、目に鮮やかな東北の祭など、祭にはそれぞれの地域性がにじみ出ていて興味深いものです。そして京都の「葵祭」、祇園祭「時代祭」に代表されるように、それぞれ地方に「大祭」と呼ばれるものがたいして存在しています。ただしこれらの中から「日本三大祭」を選ぶとなるとひと苦労。京都の「葵祭」、東京の「山王祭」、大阪の「天満天神祭」をあける人がいるかと思えば、「いや京都は祇園祭だ」「やはり大阪は住吉祭だ」「長崎のおくんちを忘れたか」といった様々な意見があり、諸説ふんぶん、これといった定説がありません。それだけ各地の人々が、郷土の祭に誇りを持ち、その内容も甲乙つけがたいということでしょう。



やっぱり夏の風物詩!  
祭を撮るんだったらココ!



**島根県**  
**きすき七福神まつり**  
(7月20日)  
幻想を誘う福ローソク5千本に点火、楽しい七福神仮装行列。  
本次町役場 ☎08544-2-1124

**岡山県**  
**郡神社火まつり**  
(7月16日)  
神社に続く3kmの道に油を流し、燃やした綿を置き、灯明で点火する。  
北房町役場 ☎0866-52-2111

**鳥取県**  
**しゃんしゃん祭り**  
(8月14~16日)  
因幡地方の雨乞いの傘踊りをモチーフにした祭り。  
鳥取市役所 ☎0857-22-8111



**石川県**  
**ヤサカまつり**  
(7月7~8日)  
神輿を水中や火中に投じて大騒ぎ。別名「あばれ祭」。  
能都町ふるさと活性課 ☎0768-62-2100

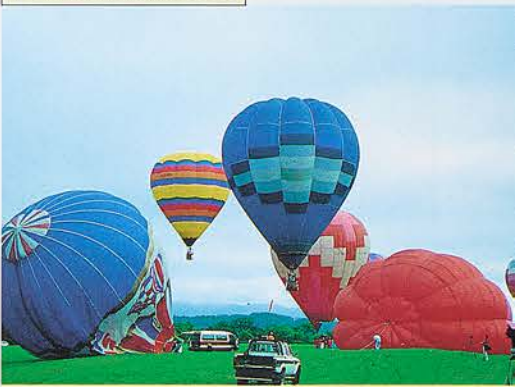
**富山県**  
**たてもんまつり**  
(8月7~8日)  
灯籠を数百個つけた「たてもん」を引き回し、光渦巻く豊漁祈願。  
魚津市観光課 ☎0765-22-2200

**秋田県**  
**鳳凰山大文字焼**  
(8月16日)  
午後8時から、日本最大の優美な大文字焼。  
大館市観光課 ☎0186-49-3111

**山形県**  
**長井あやめまつり**  
(6月11日~7月10日)  
500種類、100万本のあやめが咲き乱れる。  
長井市観光協会 ☎02388-4-2111

**新潟県**  
**弥彦灯籠まつり**  
(7月24~25日)  
奉納された灯籠を担いで練り歩く。深夜に稚児の舞が幻想的。  
弥彦村観光課 ☎02569-4-3131

**北海道**  
**バルーンまつり**  
(8月4~8日)  
素晴らしい大自然にカラフルな熱気球が浮く。  
上士幌町観光課 ☎01564-2-2111



**岩手県**  
**さんさ踊り**  
(8月2~4日)  
1万人を超える踊り子、1千以上の太鼓がみちのくの夏の夜に鳴り響く。  
盛岡市観光課 ☎0196-51-4111



**宮城県**  
**仙台七夕まつり**  
(8月6~8日)  
杜の都が極彩色に包まれる華やかな七夕。  
仙台市役所 ☎022-261-1111

**埼玉県**  
**川瀬まつり**  
(7月23~24日)  
屋台が提灯をぶら下げて練り歩き、神輿が荒川に飛び込む勇壮さ。  
秩父市観光課 ☎0484-22-2211



**千葉県**  
**成田山祇園会**  
(7月7~9日)  
新勝寺の大日如来の公開、成田・佐原の囃しと神輿、山車が見もの。  
成田山新勝寺 ☎0476-22-2111

**東京都**  
**浅草サンバカーニバル**  
(8月27日)  
浅草寺境内からサンバのリズムに合わせてのパレードは絶好の被写体。  
台東区観光課 ☎03-5246-1111

**静岡県**  
**新居の手筒花火**  
(7月22~23日)  
手筒花火を抱えて火の粉の中を舞うさまは勇壮で華美。新居小学校で行われる。  
新居町産業振興課 ☎05359-4-1111

**京都府**  
**化野念仏寺千灯供養**  
(8月23~24日)  
8千体の石塔、石仏に灯明を捧げる幻想の世界。入山に予約必要。  
化野念仏寺 ☎075-861-2221

**大阪府**  
**天神まつり**  
(7月24日~25日)  
神輿を乗せて御座船100隻の船団が川を行く。花火も見事。  
大阪市役所 ☎06-208-8181



**和歌山県**  
**田辺まつり**  
(7月24~25日)  
別名「笠鉾祭り」。山車が出て囃しを聴く。神輿の渡御や流籠馬もある。  
田辺市経済課 ☎0739-22-5300

**徳島県**  
**阿波踊り**  
(8月12~15日)  
1585年徳島城の落成祝いが始まりと言われ、急調子の三味線に乗って奔放に踊る。  
徳島市役所 ☎0886-21-5111



**愛媛県**  
**牛鬼**  
(7月23~24日)  
清正が敵を威圧するために作ったと言われる牛や鬼面の巨大な怪物。  
宇和島観光センター ☎0895-22-3934

**山口県**  
**ゆかた祭り**  
(8月1日)  
大鳥居の前で五穀豊饒を祈願しての「ゆかた音頭」がユニーク。  
下松市役所 ☎0833-41-1800

**福岡県**  
**大蛇ざおん**  
(7月23~24日)  
恐ろしい大蛇を乗せた山車が練り歩く。夜は大蛇の口から花火も。  
大牟田市商工課 ☎0944-53-4221



**長崎県**  
**ペーロン競漕大会**  
(7月31日)  
約30人乗りの細いボートでスピードを競う。ドラ、太鼓の応援も見もの。  
長崎市観光課 ☎0958-25-5151

**沖縄県**  
**塩屋のウンジャミ**  
(8月29日)  
神事を司る祝女を中心とする行事。サバニ(くり船)の競漕も。  
大宜味村 ☎0980-44-3008





## 夏の浜辺や川辺で安心、便利な 防水カメラ

ペンタックスズーム30WR(ペンタマ)

メーカー希望小売価格  
56,000円(税別)  
川の水や水道水で洗っても大丈夫なカメラです。



キヤノンオートボーイDS

メーカー希望小売価格  
42,000円(税別)  
水深5mまでの水中撮影が可能なカメラです。



### こんなに変わる! 「写真が活きるトリミング」

「見たい部分だけ大きくする」。これがトリミングです。いろいろ写っている中で、一部分だけを強調したい時に使うと便利なテクニックです。このトリミング手法を使うと、普通の写真がプロが撮影したように見えてくるから不思議です。不要な部分を自由にカットできしかも好みの被写体を縦位置、横位置に変えることもできます。海辺のシーンなどで、数人がバラバラに散策している写真の中で、表情もバックもOK「この子だけを撮りたかった」といった経験があるでしょう。こんな時、トリミングで単独に撮影したようにできます。平凡な花でも、花だけをトリミングしてクロスアップにする、インパクトのある写真に変化してきます。撮影ミスで、不要部分が多く被写体がスミの位置にある、と言った場合、トリミングは大きな効果を発揮します。

### 知って得るの 写真面白話

浜辺や、川辺で写真を撮りたいけれど、カメラにかかる水飛沫が心配、といわれる方に最適なカメラが防水カメラ。このカメラなら、どこにでも持参できます。海に、プールにカメラを持って、水と遊ぶ子供たちや恋人をすぐ近くで「パチリ」と、多様な撮影が可能です。ところで、防水カメラと言っても、種類があります。生活防水カメラは水飛沫ぐらいは問題なく、海水で濡れてもゆるやかな水道水で、洗うことができる程度。水中に入れることはできません。

防水カメラ① 水にボチャンと、落としても大丈夫。水道水もシャワーにかけて洗ってもOKです。  
防水カメラ② 水深1mぐらいなら、水中でも撮影が可能。  
完全防水① 水深30mぐらいまで  
完全防水② 水深30m以上  
大きく分けると、この5種類でしょう。目的に合わせて、購入されることをお勧めします。防水ですから、埃や砂塵にも強いほか、雨や雪の中でもカメラの濡れを気にしないでシャッターを押せます。

また、カメラ本体ではありませんが、ハウジングという、カメラを保護する形の防水器具もあります。「写ルンです」や「撮りつきり」などレンズ付きフィルム用もあって、気軽に水中撮影が楽しめます。このタイプはダイバー達に「難しい操作がなく、簡単に面白い」と、好評です。ほとんどの防水タイプは、水中に落としても浮きますが、そのまま洗ってしまうカメラもあります。ちょっと注意が必要ですよ。いずれにしても防水タイプは、水辺でも楽しく写せるカメラですから、いつものカメラとは違った撮影ができます。



子供をターゲットに写真を撮るなら、絶好のチャンスが夏休みといえるでしょう。学校から解放されたハツラツとした笑顔は、ほかの休みでは得られない表情がキャッチできます。もともと、親としてみると、チョット寂しいかも知れませんが、そこはそれ、子供の素顔を、この夏はバッチリと、撮っておきたいものです。そこで子供の撮影のワンポイントを紹介しましょう。

## ワンポイント 写真教室



### ●子供と何を写しておくか

大きな基準になるモノ、生活環境、絵や作品を入れる。子供の成長を記録していく上で、長年使っている家具、例えば、タンスなど大きさの基準になるモノと一緒に写せば、「1年でこんなに大きくなったのか」と、感動も新たに……。毎年、同じ場所、同じアングルで撮影しておくのも貴重な記録になります。

### ●撮影の注意点

子供の視界で撮る。子供たちの世界をありのままに撮るコツは、子供の気持ちになることです。これが意外と難しい。取りあえず、子供の目の高さでカメラを構えること(但し、これにこだわ

## 子供の撮影ポイント カメラを意識させずに撮る



### ●チョット高度なテクニック

積極的な露出補正を。任間の順光。海、川など昼間の順光撮影が意外と多いはず。そんな時、マイナス1から0.5ずつプラス1までの5段階ぐらいで撮影したい。思ったイメージがその中に表現されていること。任間の逆光。バックと被写体との露出差を縮めるために、理想的にはレフを使い、この場合、バックに影のある景色を選べば、バックに影のある景色を選べば、やはり5段階補正はしたい。オーバー目に撮るのがコツ。夕景の撮影。順光、逆光ともアングル目に撮りたい。但し、逆光で夕日を表現したい場合、レフは是非とも使いたいところ。積極的な露出補正を。任間の順光。海、川など昼間の順光撮影が意外と多いはず。そんな時、マイナス1から0.5ずつプラス1までの5段階ぐらいで撮影したい。思ったイメージがその中に表現されていること。任間の逆光。バックと被写体との露出差を縮めるために、理想的にはレフを使い、この場合、バックに影のある景色を選べば、バックに影のある景色を選べば、やはり5段階補正はしたい。オーバー目に撮るのがコツ。夕景の撮影。順光、逆光ともアングル目に撮りたい。但し、逆光で夕日を表現したい場合、レフは是非とも使いたいところ。

## カメラのキタムラ「第2回チビッコ写真コンテスト」 作品募集のお知らせ =賞金・賞品総額150万円=

この夏、カメラのキタムラではお子様を被写体とした写真コンテストを開催します。お子様だけの写真やお子様と家族、お子様と動物などお子様が写っているものならなんでもOKです。

あなたもこの夏、お子様の最高の表情を狙ってみませんか? くわしくは、7月中旬よりカメラのキタムラ各店で配布される応募用紙またはポスターをご覧ください。





# キタムラ インフォメーション

## こいつは便利! カーナビ ソニーNVX-F1体験

車を運転している人なら何度かは経験している、道を行き過ぎたり間違えたりのウロウロ。地図でしっかり覚えていたはずなのに、トンでもない方向に出た経験はよくある話。そこでこの解消に登場したのが「カーナビゲーション ソニーNVX-F1」です。

記事を書くために経験が必要と、友人がすでに所持していたので拝借することにしました。まず、車に取り付けていたものを自分の車に付け替えたのですが、アンテナがあつたりするから面倒と思っていたものの至極簡単。アンテナ(マグネット付き)を屋根に取り付け、アンテナケーブルをドアの隙間から引き込みディスクプレーヤーとモニターに接続するだけでした。

友人は「非常に便利」と自慢していたのですが、紙の地図が画面に入っているだけではなにかと、あまり期待はしていませんでした。当然、知らない場所、房総半島の九十九里浜へ向けて、出発地点・銀座と目的地、九十九里の片貝漁港のウェイポイントを入力。

一路、首都高速へ入る。地下道に入っても出ると、直ぐに現在地を表示してくれる。「意外と性能がいいナ」。千葉を通過して東金道路へ。初めての道でも、どの程度走ったら入るのか、自車の位置が明確に判断できるので迷うことがまったくなし。いつもなら、高速道から違う高速道へ入る場合、行き過ぎては大変と、標識がどうなっているのか、キヨロキヨロしながら、大丈夫かなと、不安と戦い(ちよっと言い過ぎか)ながら探すのに、カーナビのお陰で一切の不安感がない。

一般道路に入ったから、何回か曲がるごとに画面が即座に反応してくれるので、自車の位置が明確に判断でき、出発前に設定したウェイポイントを次々に辿るだけだから不安感もなくスイスイと、片貝漁港に到着。帰りはケチって、一般道路で銀座まで。これもウェイポイントをたどって行くだけで、迷わずに到着。何となく得した気分。友人にカーナビを返したくなかった。

## 感心した機能

- ① 24コの衛星を活用し、小さなGPSアンテナで衛星からの電波をキャッチ。
- ② ワイドビュー機構。これから向かうエリアを広く表示。
- ③ 自動南北反転機能。車の進行方向と画面の進行方向がいつも同一に向かっている。
- ④ 使い易いワイヤレスのジョイスティックリモコン。使用頻度が多い順にボタンが配列されている。手探りでもどのスイッチか判断できる。
- ⑤ 8段階に切り替わる縮尺機能。広くも細かくも自車の位置が判断できる。
- ⑥ 目的地へ1kmと300mの地点でアラームが鳴って教えてくれる。
- ⑦ また、ソニーよりこの度、新発売のCD&ナビゲーションシステム一体型カラーテレビ「KVD-6NV1」も5つの魅力で楽しいカラーライフをサポートします。

## 「KVD-6NV1」5つの魅力

- ① カーナビゲーションシステム
- ② 自動南北反転機能。車の進行方向と画面の進行方向がいつも同一に向かっている。
- ③ 使いやすいワイヤレスのジョイスティックリモコン。使用頻度が多い順にボタンが配列されている。手探りでもどのスイッチか判断できる。
- ④ CD
- ⑤ モニター



**NVX-F1**  
メーカー希望小売価格  
158,000円(税別)  
(液晶カラーモニター、ワイヤレスリモコン、地図ディスクプレーヤーGPSアンテナ、地図ディスクのセット価格です)



**KVD-6NV1**  
メーカー希望小売価格  
165,000円(税別)  
CDとナビゲーションシステムが一体化した持ち運び便利なカラーテレビです。



## 新しく楽しい 映像セール展開中

見る映像から遊んで楽しめる  
富士フィルムの  
フォトビジョン&プリントイット  
写真を家族揃って、あるいは友達とみんな



テレビで見られたら、楽しいことでしょう。それを実現させたのが「フォトビジョン」F U J I X フォトビジョン F V 7。「テレビに写った画面をプリントにしたいなあ」と思ったら「プリントイット」F U J I X フォトジョイプリンター「N C 1」にセットするときれいなプリントになる、新しく楽しい商品のセールを実施中です。

「フォトビジョン」写真をテレビ(AV端子付き)に映して大きく見られます。写真だけでなく、反転機能が装備されていますからネガポジ、白黒のフィルムからでも大きく見ることができ、蝶々や貝などの立体物でもクローズアップできます。広角と望遠の2倍ズームですから、画面をより楽しくさせます。勿論、タテ位置、ヨコ位置も自由自在。色の調整もワンタッチで適正状態が得られます。スタンドにフォトビジョンをセットすると、A4サイズの本や資料もテレビに映せる優れものです。

メーカー希望小売価格 74,800円  
「プリントイット」テレビに映し出された映像

## 世界で活躍するペンタックス カメラ&レンズセール

ペンタックスZ-5クォーツデット  
人間優先思想で設計されたAF一眼、Z-5は、操作性に優れ、右手でカメラを握ったまま、ひとさし指でシャッター速度を、親指で絞りを素早くコントロールできます。プログラムオートのままシャッター速度も絞りも思いどおりに選べ、狙った被写体を見逃しません。メーカー希望小売価格 本体84,000円 Aズーム28mm F3.5-80mm F4.7レンズ付き114,000円  
ペンタックスFA★レンズ群  
数々の制約がある中で、妥協することなく理

想のレンズに仕上げたのがFA★レンズ群です。確かな結像をする非球面レンズ、ゴーストレスコート、色収差を除去した特殊低分散ガラスの採用など、完璧を求めています。また、ズームレンズはベストのフレミングを素早く決定するインテリジェントパワーズームです。



メーカー希望小売価格 56,000円

## 「撮る・見る」 より楽しくより簡単に ソニー・コミックスビデオ

コミックス(CCD-SC7)は、撮影の簡便化をさらに促進させ、このほど新発売されました。3型の液晶モニターで、直ぐに再生するのに加え、見ながらも撮れるシステムです。特徴は①人の表情や景色も鮮やかに撮影②音声はAFMハイファイステレオ③広角と3倍相当の2焦点切替レンズ④撮影スタート・ストップボタンは押してスタート、もう一度押すとストップの2モード⑤初めての人に親切なお知らせメッセージが表示されます⑥小さくて軽いつリウムイオンバッテリー使用  
標準価格 128,000円



## お便り募集

## 次号のテーマ: 「私の秋一番の楽しみ」

このコーナーでは、毎回季節のテーマを設けて皆様のお便りを募集します。その第一回となる次号のテーマは「私の秋一番の楽しみ」。「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「行楽の秋」と、秋は楽しみがいっぱいの季節です。そこで、あなただけのとおきおきの秋の楽しみ方や、各地域の個性あふれる秋の過ごし方などがありましたら、ぜひ誌上で紹介してください。

## 編集後記

今号より、内容・体裁ともにリニューアルされ、新しくなった「写友」はいかががでしてでしょうか。読み物などを含めて誌面内容を一層充実させ、キタムラと皆様とのコミュニケーション情報誌として、より親しんでいただくことを編集目標に、今号より季節ごとの特集テーマを設定いたしました。



## 最優秀グランプリ入賞作品&受賞者の近況

カメラのキタムラ全国“桜・紅葉”前線フォトコンテストはそれぞれ3回目を迎えようとしています。このコンテストを待ち望んでいる多くの方々がおられます。今号では、過去に最優秀グランプリを獲得された3人の作品を再度、掲載するとともに、誌上に登場願って「質問1. 受賞作品を改めて見ての感想は？ 質問2. 最近はどうな撮影を目指していますか？ 質問3. 撮影スポット、とっておきの場所があったら教えて下さい」をうかがってみました。



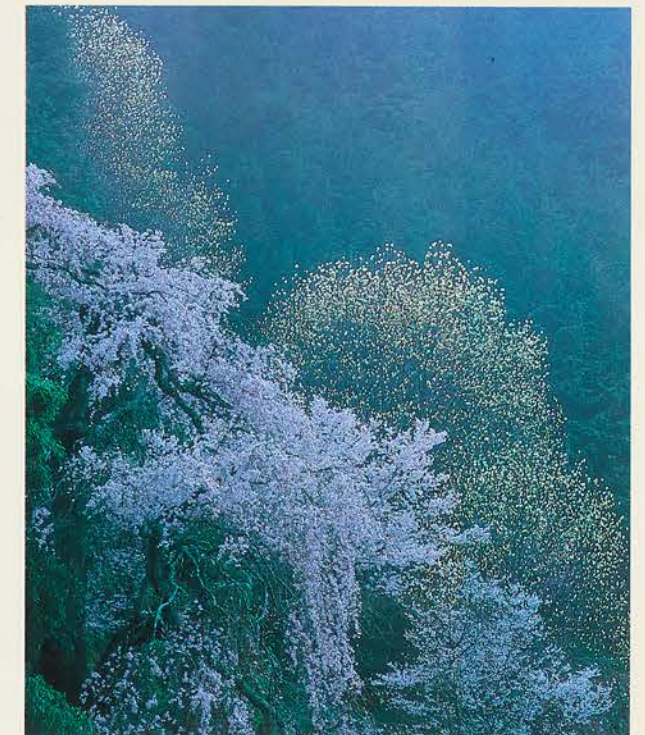
平成4年第1回全国紅葉前線フォトコンテスト  
最優秀グランプリ「紅葉谷の朝」 船越義雄様/春日市

答1. 良い場所で最高の紅葉、光線状態に恵まれ、運が良かったと思います。好きな写真の1枚です。ただ、鹿の位置に不満があり、今度撮影する時は万全を期したいと思います。  
答2. 身近かな風景で生活の香りのあるもの。子供、動物の楽しい写真、上品なスナップなど。  
答3. ①宮島の紅葉は最高だと思います。11月下旬、観光協会に聞いて見頃の時に行くこと。晴天のAM9時~10時が最高、鹿を入れること。  
②阿蘇仙酔峡のミヤマキリシマ5月中旬が見頃。JR豊肥線宮地駅下車、山頂までバスあり。雨の日でもムードがあります。



平成5年第2回全国紅葉前線フォトコンテスト  
最優秀グランプリ「かいの木」 松田定義様/岡山市

答1. 改めて眺めてみると……私の持論「写実から脱皮して」……じっくり見て鑑賞できる作品づくりに専念していますが、何とか表現できたのではないかと考えています。自分では出会いに恵まれた作品だと思っており、今後ともこの出会いを大事にしたいですね。直感で「いいな」と思ったら、即、行動することも大切だと考えています。  
答2. 最近「桜」をモチーフにして作品づくりに専念しています。満足なものができず困っています。  
答3. 桜＝岡山県北 落合町、歴史的に有名な「醍醐桜」 穴場として県北 勝山町「岩井畝の大桜」(交通の便悪し)  
新緑＝岡山県北 奥津町奥津溪(中鉄バス利用 県立森林公園 交通の便悪し)  
紅葉＝備前市 関谷学校「楷の木」 JR吉永駅よりタクシー(交通の便悪し)



平成5年第1回全国桜前線フォトコンテスト  
最優秀グランプリ「春景」 瓜坂元一様/大和高田市

答1. 受賞作品は花の一番生気のある早朝、質感と色温度による色相を考慮して撮影しましたが、次回は光線状態とアングルを変えて撮りたいと思っています。  
答2. 光と陰、そして空気感を大切に、自然・風景の一部を妥協することなく、切り取る事を目指しています。  
答3. 吉野郡天川村川合より御手洗深谷、行者還林道の山桜、新緑、紅葉と10年程取り組んでいますが、四季折々の撮影ができ、特に秋の紅葉は最高です。光線状態も良く、早朝より10時頃まで撮影できます。交通は近鉄南大阪線下市口下車、バスで洞川行き、川合下車、徒歩約2~3時間。